

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科
科目名称 [英語名称]	生徒指導・進路指導 [Student Guidance・Career Guidance]				実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○
科目コード	411100	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	4年次
教員氏名	田中 直美、福富 隆志				学位授与の方針 との関連	DP2(1) DP3(3) DP3(4)	
授業概要	<p>本授業の目的は、小学校における生徒指導、中学校及び高等学校につながる小学校でのキャリア教育について理解を深め、教師の在り方について多角的に考察することによって、生徒指導およびキャリア教育における教師の態度および思考を形成することです【態度・志向性の育成】。授業では、(1)生徒指導およびキャリア教育の意義、(2)信頼関係構築のための教師のあり方、(3)チームの一員として生徒指導に臨む教師のあり方、(4)キャリア教育の基礎となる理論、(5)自己形成につながる能力の育成についてそれぞれ講義するとともに【知識・理解の獲得】、グループワークを通して各自の生徒指導とキャリア教育についての理解を多角的に考察し、深め【汎用的技能の育成】、実際に教師になったあとも考え続ける力を養います【自己管理能力・生涯学習力】。</p>						
関連する科目	教職概論、教育原理、道徳の理論と指導法、教育心理学、発達心理学						
授業の進め方と方法	<p>毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。授業は、(1)生徒指導の意義、(2)信頼関係構築のための教師のあり方、(3)チームの一員として生徒指導に臨む教師のあり方、(4)キャリア教育の基礎となる理論、(5)自己形成につながる能力の育成についてそれぞれ講義するとともに【知識・理解の獲得】、グループワークを通して各自の生徒指導とキャリア教育についての理解を多角的に考察し、深めます【汎用的技能の育成】。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション:なぜ生徒指導が必要か 校則は何のためにあるのか 生徒指導の意義を学びます。 いじめの兆候に対応するには アサーション・トレーニングの意義 構成的グループ・エンカウターの意義 安心・安全な空間作りに必要なことは何か ファシリテーターとしての教師のあり方 生徒指導的な教師の立ち振る舞いとは 信頼関係構築という観点から生徒指導における教師のあり方について学びます。 チームの一員としての教師のあり方1 (SNSの使用) チームの一員としての教師のあり方2(マネジメント能力) 「チーム学校」の一員として生徒指導に臨む教師のあり方について学びます。 キャリア教育の目的と意義 キャリア教育とは何か、目的、意義について学びます。 キャリア教育の基礎理論 キャリア教育の基礎となる理論とその特徴について学びます。 子どもの発達とその課題 自己形成につながる能力の育成 子どもの発達段階に基づいたキャリア教育実践のあり方について学びます。 キャリア教育実践の批判的検討 小学校でのキャリア教育実践の利点と問題点について学びます。 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> (1)生徒指導の意義を説明できる (2)信頼関係構築のための教師のあり方を多角的に考察できる (3)チームの一員として生徒指導に臨む教師のあり方を説明できる (4)キャリア教育の基礎となる理論の特徴と問題点を考察できる。 (5)自己形成につながる能力とは何かを説明できる。 (6)自分自身の体験や理論から、小学校でのキャリア教育についての考えを表現できる。 						
授業時間外の学修	<p>授業中に次の授業内容を提示します。次の授業までに確認してください。(30分程度) 授業後には、授業で学んだ内容をふりかえり、要点を整理してください。(30分程度)</p>						
課題に対する フィードバック	リアクションペーパーおよび課題については、疑問点やさらに考えを深めるコメントを次の授業で取り上げ全体で共有します。	評価方法			生徒指導65点＋進路指導35点＝100点 【生徒指導】 リアクションペーパー30点 レポート35点 【進路指導】		
テキスト	なし						
参考書	文部科学省「生徒指導提要」(平成22年3月) ほかに使用する資料を授業時に配布します。						
備考							